

人口の動き

人口	4,101 人
世帯数	954 世帯
出生	8 人
死亡	9 人
転入	16 人
転出	9 人

(2月末住民登録人口から)

ひがし しらかわ 広報

才150号

発行

東白川村役場総務課

版 報 報 加 渡 東 白 川

TEL (東白川) 18

印刷

中部印刷株式会社

昭和47年3月25日発行

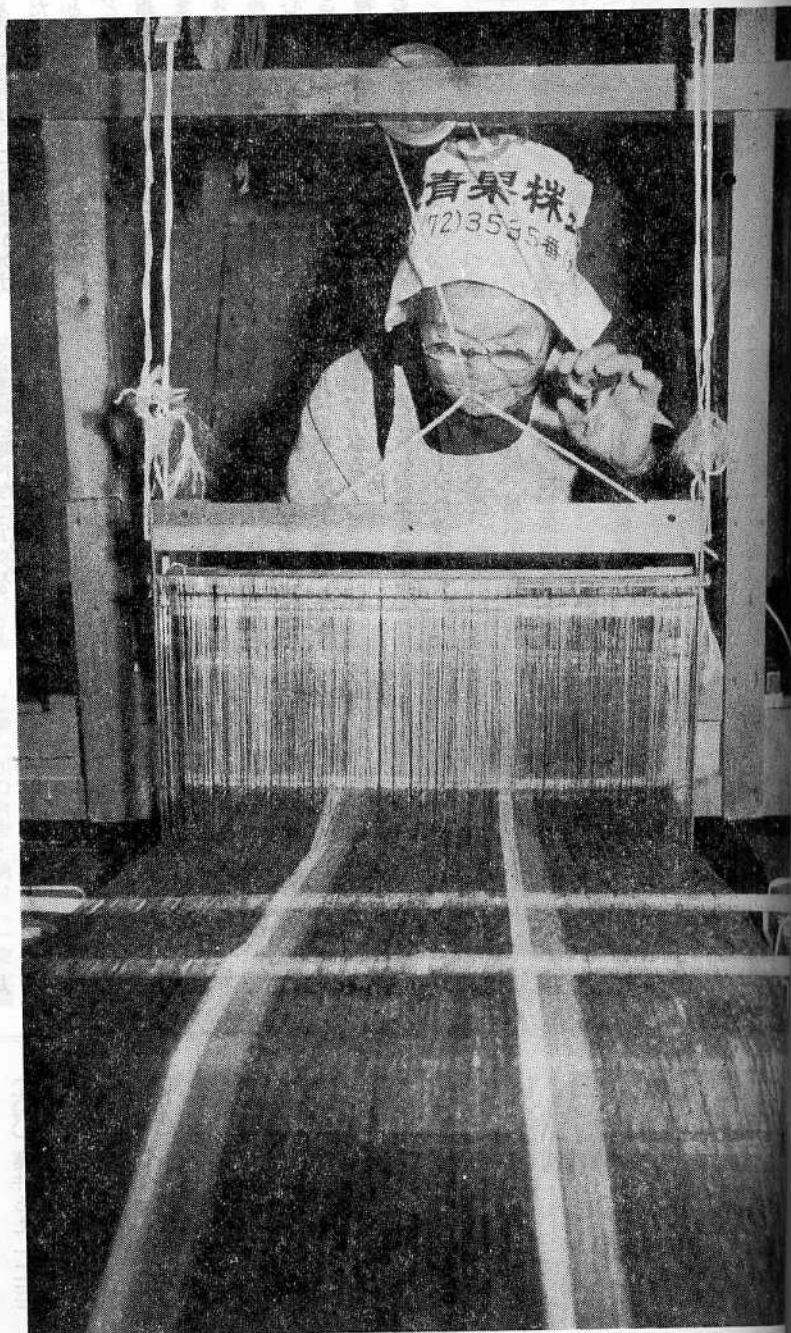
消えゆく

村の風俗

文明に追われて
いつの間にか消え
去ろうとしている
村の風俗。

なつかしい音を
ひびかせていたは
た織りも、いまは
数えるほどしか
なく、その技術を
伝え残す人も少
なくなりました。

伝統を守り続ける神付の村雲さん



春の交通安全運動

気を付けてスクールゾーン

こどもの通学通園事故防止を重点に

春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間繰り広げられます。

最近の交通事故の傾向として、こどもとお年寄りの事故が激増していることから、新入学児童が通学を始めるこの期間を国民総ぐるみの安全運動を盛りあげようというのがねらいです。

県の交通安全対策協議会でも、この運動のスローガンにみんなが守ろうこどもの安全を掲げ、重点目標として新入学児童や園児、幼児などの歩行者の事故防止を強力

に押し進めることになっています。

とくに今回は、この運動がかけ声だけで終わることなく、実施事項としてスクールゾーンの設定、こどもと保護者に対する交通安全の指導を徹底して行なうことになりました。

■スクールゾーンの設定

小学校、保育園、保育所などを中心としてスクールゾーン（とくにこどもの交通安全の確保をはかる特定の地域）を設定する。

この地内においてはこどもの交

通事故防止のための総合的な交通環境づくりと、地域ぐるみの交通安全運動を集中的に行なう。

■こどもと保護者に対する交通安全指導

こどもと保護者に対する指導は親子ぐるみの指導を重点的に行なう。

とくに新入学児、新入園児のこどもについては入学、入園前に安全な通学通園と、帰宅後の交通事故防止に必要な事項を指導し、その徹底をはかる。

■村の交通安全対策実施事項

―スクールゾーンの設定

村では五加小学校、神土小学校と東白川保育園、越原小学校と越原保育園を中心に三箇所をスクールゾーンとして設定、標識の設置安全補導などを積極的に行ないます。

―交通安全用品の交付

新入学児童へ黄色の安全帽子と黄色のランドセルカバー、全保育園児童には給付きの黄リボンを無償で交付します。

また中学生には、自転車通学者に対し、安全ヘルメット、雨ガッパの購入費に対する補助を行ないます。

―街頭補導の実施

運動期間中はもちろん、年間を通じて交通安全補導員、交通ママさんによる登下校時の街頭補導を実施する。

みんなで安全確保



けいじばん



誕生おめでとう
ございます。

■人の動きあれこれ

(二月)

(平) 山路達也 眞明 弘子 長男

(大沢) 藤井ちえ 二三 美津子 長女

(栃山) 松岡丈浩 重治 久子 長男

(柏本) 今井雅子 猛夫 典子 長女

(宮代) 山口まどか 直視 トモコ 二女

(大沢) 今井裕美 悦夫 香代 二女

(中通) 安江知子 隆司 照子 長女

(陰地) 村雲佐奈子 和男 紀子 長女



いつまでも
おしあわせに

(二月)

安江 貴雄 (柏本)
中田 信子 (中澤)

132人が愛の献血

善意の輪を広げるともしび号来村

そして県内の年間需要量約三万五千本（一本二百cc）の保存血液をすべて献血で確保し、患者のかがたが安心して輸血を受けられるよう、みなさんの献血を呼びかけています。

村でもおとし献血友の会を発足させ、四百余名が会員として登録し定期的な献血を行なっていますが、いまいちどこの運動の趣旨を理解され、次回の献血への協力を望んでいます。

献血されたかたには、献血手帳と血液型のバッヂが交付されますが、次のような利点があります。

■本人や家族のかたで不幸にして輸血の必要を生じたときは、優先的に献血による保存血液が供給されます。

献血手帳は全国共通ですから他府県でも同一に取扱われることになっていきます。

■県赤十字血液センターへ献血された本人や、その家族がもし輸血されたときは、医療機関に支払われた血液代金の全部または一部が給付されます。

細部については役場または保健所へおたずねください。

血液は生命に直結する尊いもので、不幸にして血液が間に合わなかったら、あたら助かる命を落すことにもなりかねません。



↑ 移動献血車で献血風景

健康なとき献血しておけば、将来の自分自身、家族のためでありさらには社会全体のためになるの

です。
次回の献血は、九月に予定されています。

一本化して労働保険料

失業労災保険料の申告と納付

四月一日から失業保険と労災保険の保険料の、申告・納付の方法が変わります。

これは失業保険と労災保険の保険料を労働保険料として、原則として一本にして申告・納付していただくことになるものです。

失業保険料+労災保険料＝労働保険料

いままでは失業保険料は、毎月賃金を支払ったつど申告・納付をしていましたが、労働保険料はいま

までの労災保険料の納付方法と同じ年一回の申告・納付（一定金額以上の概算保険料は分割して納付できます）となります。

▼概算保険料の申告納付

五月十五日まで

▼確定保険料（概算に対する確定精算）の申告納付

翌年の五月十五日まで

なお、失業保険に関する労働者の保険料負担の取扱いについては今までと変わりありません。



おくりあけます

(二月)

安江 延六 (平)

伊佐治喜一 (下親田)

田口 隆二 (大明神)

安江 良治 (下親田)

青山 カマ (平)

今井 六郎 (神付)

安江とめよ (黒瀬)

今井 裕美 (柏本)

早瀬孝太郎 (中通)

■おわびして訂正します

一月号十一ページで紹介した歳末たすけあい運動の記事の中で、生花グループの皆さんからの三千円の寄付が匿名の中に含まれていましたので、よろしくおねがいします。

一民 生 課

■工業統計調査のご協力ありがとうございました

昭和四十六年度工業統計調査の実施につきまして、村内各事業所の皆さんのご協力のおかげで提出を終わりました。

この調査は、全国的に集計された後公表され、政府の中小企業対策の指針としても活用されることになっていきます。

ひがししらかわ

東白川青年祭

日ごろの成果を発表

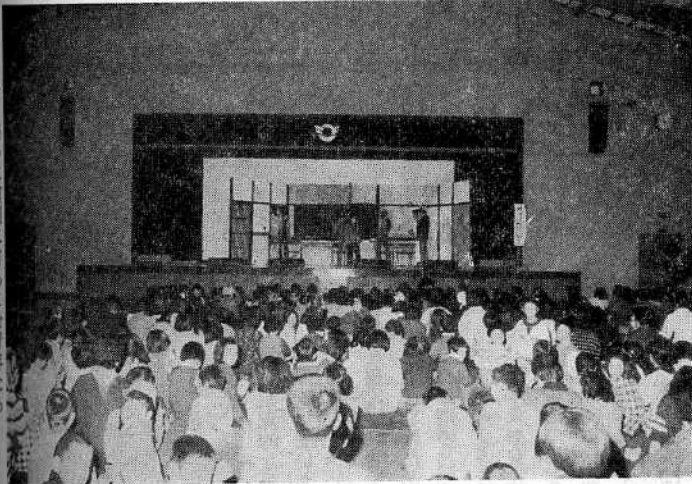
ほしい青年たちへの理解

村の青年団が一年の活動の総まとめとして毎年開いている東白川青年祭が、ことしも三月十二日体育館で盛大に行なわれました。

農村に生きる青年たちが、郷土

を愛する社会人として自覚し、全団員がひとつのことに集中することによって仲間づくりを深めようというねらいで行なったもので、七十六名の団員が一日の勤めを

終えた夜間、練習をし、舞台装置を作り、議論をしながら友情を深めるというこの伝統ある行事は、ことしも受け継がれました。



山村の娯楽の少なかつたむかしは、唯一の娯楽として各地で盛大に続けられていたこの行事も、テレビの普及、その他のレジャーのはんらんによって次第にその影が薄れ、最近では町内だけで開かれているの

は県下でも数えるほどになってしまいました。そんな情勢の中で、村の青年団の内部にも何回か中止の動きが出たと聞きます。

しかし青年たちは、この青年祭を村の人たちの娯楽本位というところから、自分たちの研修の場、仲間づくりの場として切り替え、内容も、演劇、意見発表、音楽グループの発表など日ごろの活動のまとめとして続けることにしました。

そして活動の成果を村の人たちにひろうするとともに、青年たち

が批評しあい今後の活動の足がかりにしようというのがねらいのようです。

ことしも午前十時から午後四時まで終始熱心に研究発表を行ない理解ある村の人たち、青年団OBの皆さんからさかんな拍手が贈られました。

とかく世の批判を浴び、都市近郊での非行化が問題となっている現在、こうしたことに打ち込む青年たちに、私たちはより理解を深めるとともに、せめて一日を青年たちのために費してやれる姿勢がほしい気がします。

米寿のお年寄りに金盃



郵政省保険局では、例年行なっている行事のひとつとしてことしもまためでたく米寿を迎えられたひとびとに対し、感謝と今後の健康をお祈りして、記念品の米寿盃（金盃）をお贈りしました。

この行事は、長寿者が戦時中の国民皆保険の例に照らしてみるとすべてかつての簡易保険に加入していたひとびとです。

（敬称を略す）

神土 西 洞 古田つよ
親 田 安江 しな
黒 潤 安江 ため
日向 安江志げの
大 明 安江 幸一

■ 新学期です

ことし小学校へ、あるいは保育園へはいるお子さんにとって、新しい人生？の出発点というわけです。口ではうまくそれを表現できないでしょうが、お子さんにとっては大きな環境の変化です。

いままではお母さんに甘え、近所のお友だちだけだった交遊関係から、家庭を離れて顔も気心もわからないお友だちと一緒に暮らす時間が増えたのですから家に帰ってくるまでの張りつめた気持ち察してやらなくてはなりません。

親の目からみればお子さんはいつまでたっても甘えん坊でやんちゃぐらいいしか見えませんが、一歩、外へ出れば子どもたちの世界にも案外、おとなの世界と同じような環境が待ち構えているようです。東京のある幼稚園の先生のお話によりますと子どもたち同志の間でも競争心やしつと心はもちろん、おどしやけんかは絶えないようです。

しかし、それを一概に良し悪しの判決を下させる親は何人いるでしょうか、みんなよい子になってもらいたい気持ちですが、保育園とはいいいながら、これも人間の社会です。おとなの社会

村の次代に山林資産を

山吉会が村有林の枝打ち奉仕

の恩恵に感謝し、次代の人たちに山林資産を残すのが義務だと呼びかけています。

こんど行なった村有林の枝打ち作業も、そうした考えから枝打ち技術の普及によって林材の品質向上をはかり、あわせて山を愛する心を育てることを目的にしたものです。

当日は、松岡さんや前村長の河田さんら二十名が参加、新集村有林約一ヘクタールの枝打ちに汗を流しました。

また、枝打ち技術の交換も行ない、それぞれ山の好きな人たちにけに名人芸を披露しました。

村内の山の好きな人たちが山吉会という集りをつくり、その手始めの事業としてさる三月二十一日村有林の枝打ち作業の奉仕を行いました。

この三吉会は、越原陰地の松岡正平さんらが中心となって、山を愛し山を育てることに喜びと生きがいを感じる人たちがで結成したものです。

そして村財政の中に、先祖が育て残してくれた村有林の収益が大きく役立ち、また個人経済の中にも山林収入に依存していることが大きいところから、この山林資産

広報ひがししらかわを私は第八十八号（昭和四十一年三月十五日発行）から保存しています。

これを各家庭に送ってくださるまでに編集の係のかたのたいへんな努力でありますことを感謝しながら、毎月組長さんから届けられる日を持って読ませていただきます。

盛りだくさんの内容の中に感激する記事、日ごろ無関心な村政を勉強させてくれる記事などいろいろ載せてありますが第百四十九号KM様の投書を読んで、ことし始めて中卒のことも社会に送り出す親の私にとって身近に感じまし

の好きな人たちに呼びかけ、山林無育の精神の向上や技術の交換奉

ます。身軽に枝打ちに励む会員



た。

投書以外のかたから聞くことでも、このSさんの息子さんは、勉強でも、生活でも特別優れていた

子ではなかったのに、今はほんと

でだれにでもできない、もったもたいせつな親孝行をされたことに感動しました。

恐怖もまだ去らぬ最近のニュース、最高学府に学びながら人間性

投書

親孝行できる人間に

社会へ巣立つ子に望む

うにりっぱになったと言って感心していただけることです。

あたりまえのことが、あたりまえでなくなってきた現代に、だれにでもできなければいけなく

を失なった彼らの行動などから、彼らも人の子なら激変で気のもめ

る社会情勢の中へ出ていく子らにSさんの息子さんのように、親孝行な子になってくれることを望みます。

のです。

今の世に親孝行などと、むかしの出来事のように錯覚されがちですが、いつの世にも親孝行は存在しなければならぬと思います。

Sさんの息子さんのように物質的はともかくとして、せめて親に心配かけないことが第一の親孝行ではないかと考え、ふるさとをいつも思ふ情のある子に成長して欲しいと、こんな気持ちで私も送り出すのです。

冷たい事件の多いこうした時に村内の心暖まる記事を、広報を通じてたくさん知りたいと思ひます。
(越原S・Y)

交通遺児に

激励金

県下には、交通事故によって親などをなくされた交通遺児がたくさんいます。

この遺児たちが、くじけることなく健やかに成長し、勉学に励んでいただくよう、ことしも五月五日のこどもの日に激励金が支給されます。

乳幼児と小学生は年額五千円、中学生は一万円、高校生は一万五千円です。

ふるさとへの便い

失敗するたびに学ぶ

信頼され親しまれる店員に

私たちが住みなれた村を離れもう一年になろうとしている今、やうと東白川の良さ、ふるさとのあたたかさを身にしみて感じました。

私は今、衣類売り場の店員として働かせていただいています。

お店のみなさんとても良いかたばかりで、いろいろと私に氣を使ってくださいます。

ほんとうにうれしく思います。毎日がとても楽しくて、自分でも良かったと思うことがたびたびです。

なにしろ私の仕事はお客さんを手相手にしますから、お客さんのことをじゅうぶん考え、失礼のないような態度をとらなければなりません。

そしていちばんたいせつなことは、ことばの使いかたです。

いつもお客さんのことを思っていて、やさしく、ていねいに氣に入ってもらえる商品です。

あげることです。

いつも、いつも失敗ばかり、でも失敗するたびに何か新しいことをひとつずつ学びます。

こういつた何かで勉強し、何かを覚えて社会の厳しさ、そして社会のほんとうのすがたを知ることができると思います。

この社会の厳しさを乗り越え、いっしょうけんめい努力して、良い方向の道を歩いて行く人ほど、良い社会人としてりっぱに成長するだろうと思います。

私も、だから信頼され、親しまれる人間に、そしてだれにでも喜んでいただける商品売の店員に、一日も早くなりたと思います。

そして社会人としても強く生きたいと思います。

何事も努力、努力ががんばらなくっちゃでいきます。

瑞浪市寺河戸町一三三八のいきりや内 木 入 子

◆がん
がんは致命的な病いとして現在では最も恐れられているもののひとつです。

一部のがん(子宮がん、乳がん早期がんなど)を除いては、がんと診断されたころには手おくれになっている状況が多いものです。

がんによる死亡は毎年増え医学の進歩で発見される率が多いのもひとつの動きです。

がんは脳卒中に次いで死因の第二位を占め、年齢別にみると、働きざかりである三十五歳から五十九歳ではがんで死ぬ人は第一位となっているのです。

成人病の中でもがんは精神的、身体的な苦痛が多く、その家族まわりの人が受ける痛手も大きく悲惨なものです。

さて、がんとはどんな病気なのでしょう。人間のからだは多く細胞からできています。人間が発育成長し、生きていく限り細胞の新陳代謝が行なわれています。

細胞ができ分裂し増えて活力に使われる、それがこわされる……

このくりかえしが行なわれています。若い人ほど活発なくりかえしがおこなわれます。

ところが細胞のひとつがある日突然勝手気ままな活動を始めるのです。そしてこの未熟で悪質な細胞がまわりの組織、臓器をおかしてどんどん増えていくのです。

そればかりリンパ節、血液を



成人病の巻

⑥

介して遠くの組織にまで飛火し、そこで気ままな増殖をはじめ、臓器のはたらき、全身の調子を狂わせてしまふのです。

がんの原因は「刺激説」「遺伝説」「ウイルス説」などがいわれまますが今のところ、決め手がありません。がんの種類によって発生しやすい傾向は調査によって次のようなことが考えられます。

◆肺がん

男の人に多くタール、放射性物質を取扱う人に多い。たばこを多く吸う人は吸わない人にくらべて圧倒的に多い。

◆子宮がん

妊娠回数が多い人に多い。

◆乳がん

初潮、初婚、初産の遅い人、妊娠回数が少ない人、授乳を早くやめた人に多い。

◆胃がん

胃潰瘍、胃炎、ポリープなどがあつたり、たえずそれをくりかえしている人、米の太食、塩辛いもの、熱いものを食べる人食物をよくかんで食べない人に多い。

以上のような人、身内の人がかんで死んだというような人は次の原則をまもってください。

(1) 年一回定期的な検診をうける村では子宮がん、胃がんの集団検診をこししも、それぞれ十一月六月に予定しています。

(2) おかしい症状があれば、すぐ専門医に相談をすることです。

■心あたたまる投書がありました。今後もしどしおねがいします。



広報ひがししらかわ 毎月百五十号となり

よい資料となります。